



2022年7月7日

各位

インフラファンド発行者名
東京インフラ・エネルギー投資法人
代表者名 執行役員 永森 利彦
(コード番号 9285)

管理会社名
東京インフラアセットマネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 永森 利彦
問合せ先 執行役員管理本部長
兼財務経理 IR 部長 真栄田 義人
(TEL: 03-6551-2833)

保有資産に係る月次発電量実績及び出力制御の実施状況に関するお知らせ (2022年6月)

東京インフラ・エネルギー投資法人(以下、「本投資法人」といいます。)が保有する太陽光発電設備の2022年6月の発電量実績及び出力制御の実施状況につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 月次発電量実績(第9期 2022年1月~2022年6月)

	物件数	パネル出力(kW)	発電量予測値(kWh) (注1) (注3) (A)	発電量実績値(kWh) (注2) (注3) (B)	差異(kWh) (注3) (B)-(A)
2022年1月	11	45,996.92	3,285,875	3,083,701	-202,174
2022年2月	11	45,996.92	3,655,834	3,813,657	157,823
2022年3月	11	45,996.92	4,970,913	4,698,871	-272,042
2022年4月	11	45,996.92	5,145,490	5,169,895	24,405
2022年5月	11	45,996.92	5,454,735	5,159,242	-295,493
2022年6月	11	45,996.92	4,400,518	4,818,652	418,134
合計	—	—	26,913,365	26,744,018	-169,347

(注1)「発電量予測値」とは、超過確率P(パーセンタイル)50の数値(50%の確率で達成可能と見込まれる数値を意味します。)としてテクニカルレポートの作成者その他の専門家によって算出された発電電力量の予測値の合計値をいいます。但し、TI霧島太陽光発電所については、前述の超過確率P(パーセンタイル)50の数値から、TI霧島太陽光発電所における過去の出力制御実績に伴う停止実績等を基に出力制御による発電ロス想定値を算出し、控除した数値をいいます。

(注2)「発電量実績値」は、発電監視システムで把握可能なデータを基に集計し、最新月は速報値を記載しています。

(注3)「発電量予測値」、「発電量実績値」、「差異」はいずれも各発電所の合計値について、1kWh未満を四捨五入して表示しております。「差異」の表示は、「発電量予測値」の表示と「発電量実績値」の表示の差とは必ずしも一致していません。

<特記事項>

2022年6月の発電量実績は、保有資産合計で発電量予測に対し、約9.5%高い4,818,652kWhとなりました。



2. 月次発電所別発電量実績（第9期 2022年6月）

物件番号	物件名称	パネル出力 (kW)	発電量予測値 (kWh) (A)	発電量実績値 (kWh) (B)	差異 (kWh) (B)-(A)
1	TI 龍ヶ崎太陽光発電所	1,456.00	152,519	167,830	15,311
2	TI 牛久太陽光発電所	2,284.80	240,583	269,780	29,197
3	TI 鹿沼太陽光発電所	1,370.88	136,765	142,560	5,795
4	TI 矢吹太陽光発電所	12,994.80	1,464,154	1,401,400	-62,754
5	TI 釧路太陽光発電所	1,965.60	185,649	217,140	31,491
6	TI 根室太陽光発電所	2,984.80	301,868	309,358	7,490
7	TI 新見太陽光発電所	1,223.04	128,805	144,210	15,405
8	TI 愛南太陽光発電所	1,310.40	116,721	146,250	29,529
9	TI 中標津太陽光発電所	1,223.04	119,853	116,844	-3,009
10	TI 霧島太陽光発電所	17,140.20	1,339,422	1,670,580	331,158
11	TI 岡山太陽光発電所	2,043.36	214,179	232,700	18,521
	合計	45,996.92	4,400,518	4,818,652	418,134

3. 出力制御の実施状況（第9期 2022年6月）

2022年6月においては、本投資法人が保有する太陽光発電設備を対象とした出力制御の実施はございませんでした。

4. 2022年6月期（第9期）の運用状況の予想への影響について

本投資法人が2022年2月18日付「2021年12月期決算短信（インフラファンド）」にて公表した2022年6月期（第9期）の運用状況の予想に与える上記3.の出力制御の影響に関し、本投資法人のポートフォリオ全体の予想売電収入に対する当該出力制御による逸失売電収入の今期累計比率は0.87%となりました。従いまして、今期において実施された出力制御が本投資法人の運用に与える影響は限定的と考えております。

以 上

※本投資法人のホームページアドレス：<https://www.tokyo-infra.com/>